

平成14年1月(2002年) No. 433

### <新年ご挨拶>

### 厳しい世の中だからこそ

### 今年も元気で楽しく、充実した年に

21世紀の始まりの年と云われる昨年度は、同時多発テロを始め、何かと世の中、騒々しい年でした。また一段と厳しい年でもありました。こうした中であって、わがOMCは何事もなかったかのように、元気で楽しく充実した一年ではなかったのかと自負しております。例会、研究会、撮影会、公開映写会などのOMC活動に加えて、外部団体への支援事業なども活発に活動してまいりました。昨年を引き続き、今年度も全国的なビデオコンテストに8氏、10本の作品がグランプリ受賞ほか、ほとんどの作品が上位入賞を果たすという快挙がありました。これもOMC伝統の、良い作品を作り、公開映写会で観て頂くことを一つの目標とし、生き甲斐を感じていただける会員諸氏の熱心な活動の賜ではないかと思えます。今期も前年以上に活動したいものと念じています。

さて、前年度の活動において特筆すべきことは、ノンリニア編集を撮り入れた会員さんが大幅に増えたことで、ほとんどの作品がパソコン編集で作られるようになりました。かたくなに在来編集にこだわっていた私でさえ、遂にノンリニア編集に取り組みざるを得ないほどの急激な変化でした。

これは2月の研究会で、藤原世話役によるノンリニア編集の講習会が、ひとつのきっかけではなかったかと考えています。

ともあれ、ノンリニア編集は、作品づくりの一つの道具に過ぎません。あまり奇をてらった技法を作品に採り入れるのを慎む必要があります。あくまで作品の評価は、脚本・構成及び編集の良し悪し、適切な音づくりなどの結果に左右されます。ノンリニアに振り回されることなく、マイペースで、今年も元気で楽しく、頑張っていきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 1月例会のお知らせ

1月例会は26日(第4土曜日)午後18時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。どうぞ作品をお持ちになって、ご出席ください。今年初めての例会、楽しくやりましょう。

## 新年会兼総会 1月20日(日曜)をお忘れなく

昨年同様、法善寺横町の「さと」にて18時より、新年会兼総会を行います。12月例会案内で同封した出欠ハガキをまだ投函されていない方は、電話でもよいから会長宛ご連絡下さい。出欠通知の方で急用や急病など止むを得ない事情で欠席される場合は早めにご一報願います。今年初めての楽しい集いで、会員諸氏とお会い出来ますことを楽しみにしています。

### ビデオコンテスト入賞おめでとうございます

#### ■岡山映像作品コンテスト2001(デジタルムービー部門)

特別賞 閑谷(しずたに)学校 吉岡 貞夫さん

#### ■第4回名古屋ビデオコンテスト

入選 秋色立山 有村 博さん

### 12月作品研究会のレポート

例会日の午後1時30分より、阿倍野市民学習センターにて作品研究会を開催、主テーマは10月に行われた鞆公園で「花と彫刻展」ミニ撮影会を行ったときの作品で10本の作品が寄せられました。同じ素材なのに人によって作風がこうも違うものかと改めて感じ入りました。

■出席者：有村、江村、奥、関、合原、前田、増池、安居夫妻、渡辺、森の11氏。

- 1) 彫像のある風景：前田氏、3分。肩乗せの棒の上にカメラを乗せて、移動撮影を試みられたという研究会作品らしい取り組みをされた作品。
- 2) 木霊(こだま)：良枝さん、2分55秒。パソコン編集で色々な技巧をこらして取り組まれた意欲作。そのご熱心さに敬意を表したい。
- 3) 男と女：安居(利)氏、3分10秒。これも特殊技法を駆使してつくられた作品で、パソコン編集ならではの技巧編。やり過ぎの弊害見本の提供作品。
- 4) 木陰のマドンナたち：関氏、4分30秒。良く知られたプレスリーの曲をあえて使ったと作者。有名曲の選曲についてしばし議論も……。
- 5) ロケのつぶやき：合原氏、9分10秒。撮影本番へ向けてロケしたときの独り言を作品に。本編はいつできるの？と冷やかされる始末に。
- 6) うつぼ公園：江村氏、3分45秒。新兵器の移動撮影機を駆使して動きのある映像を試みられたもの。結婚式風景が中途半端な描き方で惜しい。
- 7) 花と彫刻：有村氏、4分39秒。マスクワーク、多面体、ミラージュなどいろいろな表現方法に挑戦、いろいろと勉強になりました。
- 8) 花と彫刻展：増池氏、5分50秒。2台のカメラを使い、1台は三脚の先に下向きに付け、高く上げて俯瞰撮影。1台はモニター替わりとか。
- 9) 花と彫刻：奥氏、4分30秒。パソコンのトラブルで(OLのところ)ノイズが出る、との話題を提供作品。パソコンのトラブルはやっかいとの声。
- 10) 花と彫刻：森氏、6分4秒。先月例会で上映済みのもの。軽快なBGMでまとめられたが、テーマを決めてまとめる必要性についての話しも……。

## 12月例会のレポート

12月の例会は22日の午後6時より何時もの例会場で研究会に引き続き開催しました。司会、関さん、書記、有村さん、デッキ係に渡辺さん、奥さん、受付兼証明係を増池さん、安居良枝さんの担当で進行しました。

◆出席者：森、関、安居利、安居良、江村、那須、有村、松本、森田、今井、増池、中尾 西村、奥、河合、合原、渡辺、江藤、前田、藤原、吉岡、森下、片山、金子、上総 華岡の皆さん（敬称略）の26名と作品本数16本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村 博さん）

1) 箕面公園 増池 茂さん 7分15秒

紅葉の箕面を仕事を終えた昼から行って撮影されたそうです。安定した画面で沢山のカットを撮っておられます。紅葉は裏から逆光で撮るアップが美しいので次回は是非このアップを多用してほしいと思いました。

2) 晩秋の当麻寺 江村 一郎さん 5分06秒

東祥高の荘重な音楽によって心象風のカットが続きます。画面が安定し、画角もよく、12月の始めに2回現地を訪れて撮影されたそうです。見事な作品でした。あれ、これは何だろうな、と言った超アップが欲しかったな、という声もありました。

3) 秋 安居 良枝さん 4分00秒

次々に新しい試みに挑戦される作者の姿に畏敬の念を覚えます。しかしこれは最初に言葉ありき、の作風で独特の境地のようです。「詩」を表現するのに黒ふち、白字の太いゴシック文字は頂けません。総合芸術を志す私達の作品作りの基本はやはり映像が第一で、それに付加する繊細な感覚の文字や音楽ではないでしょうか。最初から終りの出るまでの「語りづくめ」は観客にとっては終って何も残らない結果になると実感しました。

4) 大大阪への道程 安居 利次さん 9分40秒

新しくオープンしたNHK大阪放送会館の隣に同時開館した大阪歴史博物館は歴史好きの安居さんの待望の場所だったようです。7、8世紀頃のなにわの宮以降の長い歴史を詳しく調べて作品にしておられます。文章とか写真ですとじっくり考えに更ける事も出来ますが、1200年もの出来事をこの短い時間であれこれと表現されますと頭の悪い私などは到底ついて行けません。走馬灯を見せてもらったような感じでした。

5) ジャスパー国立公園 有村 博さん 9分07秒

カナダのジャスパーはエドモントンの空港から車で、東京-米原間位を走らないと行けない不便な所です。そして冬になると氷点下40度にもな

る厳しい自然の所です。それだけに作者の思い入れが激しくこんな作品になってしまいました。でも今から思えば行って、撮って本当によかったと思っています。

6) 延暦寺の諸堂めぐり 渡辺 雄史さん 5分30秒

比叡山にあるこのお寺の建物を次々に訪問して、その創建からの故事来歴を詳しく調べて語っておられます。1日だけでこれだけの撮影をされたそうですが、一生懸命作られた後がよくうかがえて立派な努力作でした。

7) 下津井 関 剛さん 8分20秒

他のクラブの撮影会で撮られたものです。岡山県の鄙びた湊町の風情を独自の画角で切り取り、映像と音楽と現場音だけで構成された素晴らしい作品です。ドキュメンタリー作品でも最近のテレビではよくしゃべります。タレントにべちゃくちゃ言わせて良しとする、そんな風潮にあきあきした者にとって、この作品は一幅の清涼剤でした。

8) 霖雨(りんう)秋景 河合 源七郎さん 5分20秒

しとしとと降る雨、ガスに曇る野山、雫の滴る紅葉、流れる小川などが笛の音によくマッチして描かれます。日本画を連想するような美しい画面で構成されています。落ち着いた良い作品だったと思います。雨の滴る音や風にそよぐ木の葉の音などは傘に邪魔されて無理としても川の音くらいは自然音として欲しかった様に思いました。また笛の音が途中で切れて終わったのが一番残念に思いました。

9) 信貴山寺 森 保信さん 7分13秒

奈良県生駒郡信貴山の上に広大な領域をもったお寺があります。山岳信仰に始まったこのお寺は密教寺院として修験道が盛んでしたが、今は信貴山真言宗になっているそうです。本堂の毘沙門天が有名です。そのお寺を撮影して作品にされたものです。ここで何を表現したかったのか、解説もテロップもありませんので判りませんでした。

10) 北の秋景 合原 一夫さん 9分36秒

秋の北海道、美瑛の丘周辺での農作業を中心とした美しい映像を撮ってこられました。解説を必要とする箇所は何箇所もありますが、映像の説明などははぶいた方がよい様に思います。その方が観客が自由に考え、想像を働かせることが出来て、作品の幅をより広げるのではないのでしょうか。そんな事を考えながらこの見事な映像の作品を拝見しました。

11) 閑谷(しずたに)学校 吉岡 貞夫さん 8分09秒

岡山県備前市にある特別史蹟を訪ねて撮影し、よく調べてナレーションを構成され作品にしておられます。300年も前に日本で最初に作られた学校の事を初めて教えて頂きました。最初に出てくる瀬戸内海や瀬戸大橋

などは同じ岡山県でも備前市とは関係がないのでは、とのご指摘がありました。岡山映像作品コンテストの特別賞受賞作品はまた別の作品だそうです。

**12) 中国琵琶** **上総 修一郎さん** **19分00秒**

堺市の市民ホールで開催されたイベントを丸撮りされた一部を見せて頂きました。中国と日本の琵琶の違いを解説していましたが聞き取り難くて困りました。露出はスポットライトの時に合っていて、舞台全体に電気がつくとオーバーになって顔も琵琶も白くとんでいました。舞台撮影はつくづく難しいものだと思います。音は舞台のマイクからの直採りでないと無理なようですね。

**13) ベジタリアン パレード** **森田 光春さん** **8分30秒**

画面には何の表示もないので後からお聞きした所では、タイを旅行された作者がプーケットという町で偶然見かけた異様なパレードを撮影されたそうです。片方の頬に大きな穴を開けてそれに大きな棒を通して歩く菜食主義者の集団だそうです。中には両頬に穴を開けた人もいます。何の為にそんな事をするのか判りません。普段、物を食べたり、お酒や汁物が開けた穴から出てきて不便だろうな、と思いながら見せて頂きました。

**14) 虚空** **片山 尚子さん** **3分30秒**

この作者のクレジットにビデオアーツとあるので、これは芸術です。中身は兵庫県の北条の石仏と付近の川の滝がメインになっています。雨ざらしの石仏を見て、何処をてるのか、何を考へてるのか、空をつかむ以外ない世界、と言う作者の内なる世界の表現のようです。凡人の私には判りませんが、これもパーソナルアーツの一つなのでしょう。

**15) ミューレン** **那須 典彦さん** **4分20秒**

タイトルにスイス旅行絶壁の上の小さな村とあります。それがスイスの何処にあるのか、見たような雪山や氷河の山が出てきます。益々知りたくなります。帰宅後必死で調べました。ミューレンは著名なリゾート地のグリンデルヴァルトを含むユングフラウ地方にある標高1600程の村で、見えてる山はユングフラウ、メンヒ、アイガーの様でした。初めて見る人達により親切な見せ方をする様、努力するのも必要なように思いました。

**16) 国際交流フェスティバル** **金子 博泰さん** **8分00秒**

東南アジアの色々な国々の踊りが舞台上で演じられます。その内に何か怪しげなハワイのフラダンスやスペインのフラメンコが登場します。終り近くになってやっと看板に「東大阪市」と出て初めて開催地が判りました。出てきた観客の一人、江村さんにお聞きしましたら、布施の三の瀬公園で行なわれたイベントだったそうです。見る方も大変です。

以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶店と居酒屋に別れて2次会を楽しみました。

## 平成13年度の活動を振り返って

平成13年度は、12ヶ月と平常年に戻り活動しました。会員数は前年より4名増えて41名の過去最高を記録しました。ここにこの1年を振り返っていろいろ纏めてみました。

### ■この5年間の例会活動記録の推移

	会員数	1例会当たり		年間 総作品数	備考
		出席者数	作品数		
平成9年度	26名	15.5人	7.3本	80本	
平成10年度	32名	21.3人	11.9本	143本	
平成11年度	35名	23.0人	12.2本	146本	
平成12年度	37名	23.1人	11.5本	172本	15ヶ月
平成13年度	41名	25.3人	12.4本	149本	

注：作品研究会関係は含まず。柳川撮影会作品を含む。

上表から伺えることは、この4年間はほぼ同じような安定した作品数と出席者数が続いていることで、会場をいつも一杯にしての例会だということができます。この流れで今期も続けていきたいと念じております。

### ■例会を盛り上げて頂いた功労者たちに感謝します。

◎例会全出席者：今井、江村、関、那須、中尾、増池、森、安居夫妻の9氏。

11回出席者：有村、金子、河合、合原、前田、藤原の6氏。

10回出席者：西村氏。

◎毎回作品出品者：安居夫妻の2氏。

11本出品者：有村、江村、河合の3氏。

10本出品者：那須氏。

以上、万障繰り合わせて例会に出席いただき、また、ご熱心に作品をお作りになって発表され、私達の眼を楽しませて頂いた方々に感謝します。なお、上記の方々に対し、ささやかではありますが、DVテープを記念品として総会の席上で贈呈いたします。

## ■作品研究会の記録

今期の作品研究会は偶数月にしましたので、開催は6回出席者総数78名。

1回平均13名、作品総数(ノンリニア講習会を除く)41本、1回平均8.2本でした。

◎特別講習会：2月24日は「ノンリニア編集の初歩」藤原世話役が講師。

◎ミニ撮影会：10月28日 鞆公園にて「花と彫刻展」をテーマ。9名参加

## ■OMCの行事として一泊撮影会

3月17～18日、「柳川ひな祭り」、参加者はOMC会員16名、同伴者等を含めて総数24名の大部隊でした。お祭りで人出が多いので会員諸氏で持ち場を分担して撮影し、その後各人から数分ずつ映像を提供し合って60分の素材にまとめ、それを各人に配って、それぞれが作品にまとめる、というやり方で行い、コンテストを行いました。作品は15本という出品を見て、江村氏が最優秀賞に輝きました。

## ■全国アマチュア映像コンテストに続々入賞の実績

- 1) 関 剛氏 第1回彩の国埼玉全国映像コンテスト  
グランプリ 県知事賞「古都の韻(ひびき)」
- 2) 合原一夫氏 第10回東京アマチュア映像祭全国ビデオコンテスト  
入賞 「聖なる河」
- 3) 有村 博氏 ①第4回名古屋ビデオコンテスト 入選 「秋色立山」  
②第2回アストロデザイン・ムービーコンテスト (幕張国際放送機器展会場)

審査員特別賞「マッターホルン・ハイキング」

- 4) 安居良枝さん ①第10回東京アマチュア映像祭全国ビデオコンテスト  
入選 「眼から鱗」  
②大阪市視聴覚教育協議会第3回ビデオメッセージ、課題部門  
大賞 「都会のオアシス」
- 5) 安居利次氏 大阪市視聴覚教育協議会第3回ビデオメッセージ  
特別賞 「よさこいって何ですか」
- 6) 西村光雄氏 大阪市視聴覚教育協議会第3回ビデオメッセージ、自由部  
門大賞 「ネパール民謡・レッサムフィリリに寄せて」
- 7) 吉岡貞夫氏 岡山映像作品コンテスト2001・デジタルムービー部門  
特別賞 「閑谷(しずたに)学校」
- 8) 増池 茂氏 大阪市視聴覚教育協議会第3回ビデオメッセージ  
入選 「高野山」

以上8氏、10作品で、いずれの作品も他流試合で立派に内容が評価されたということで、OMCのレベルの高さを証明するものといえます。

## ■OMC映像フェスティバルの開催

・第41回 平成13年10月21日 阿倍野市民学習センター：190名入場

## ■外部団体への支援事業（映写担当、司会、受付等担当）

・1月20日 第8回日本を縦断する映像発表会 阿倍野市民学習センター

・6月2日 第9回日本を縦断する映像発表会 京都商工会議所ホール

・11月18日 第5回大阪アマチュア映像祭 大阪市立中央図書館ホール

## ■年会費値下げ実施

会員数の増加に伴い、会計的にもゆとりが生じてきましたので、年会費1万円を8千円にしました。次年度は数名の方の継続入会が期待できませんが、当分これでやりくりしていきます。（以上 合原記）

## ■今月のインターネット作品

安居良枝さんの「秋」です。

## ■インターネット情報

昨年から今年にかけて、固定電話の業界ではマイラインの獲得競争でしのぎを削っていました。マイライン競争ではやはりNTTの一人勝ちで終わったようです。通信手段としては、電話線を経由する固定電話と、ここ数年で急速に伸びた携帯電話とがありますが、通信の主力はやはり電話線による固定電話です。しかし固定電話にも価格破壊の波が押し寄せてくるようです。最近耳にするようになったIP（インターネット・プロトコル）電話の伸びが、従来型の固定電話の領域に食い込みつつあるようです。インターネットのIP接続は、自宅から電話局までのNTT回線の電話料金を負担するだけで、僅か3分8円強で世界中のウェブサイトへ接続できるという大きなメリットがあります。このIP技術を駆使すると、低料金で世界中に電話が掛けられるということになります。IP電話は遠距離になるほど割安になり、従来型電話でアメリカへ掛けると3分160円もかかるのが、僅か45円ですむようです。

インターネットの通信料金は、自宅のPCから最寄りのNTT電話局までの回線使用料をNTTに払うだけです。そこから先は全世界のウェブサイトへ何時間見ても料金はかかりません。しかし実際は太い光ケーブル、海底ケーブルなど膨大な通信設備を使ってネットを楽しんでいるわけです。では、一体誰がこれらのバックボーンの使用量を払っているのか？誰に聞いても明確な答えは返ってきません。しかし実際は膨大な通信費がかかっています。このインターネット網の費用をネットユーザーは負担しているようには見えない（？）のですが、ここの部分をIP電話で非常に安く通信が出来るようになると、NTTなど通信網を維持している会社は干上がってしまうように思えるのですが…。

IP電話が安いことはいいことだと、単純に喜んでいいのかな？と疑問に思えます。私は別にNTTの肩を持って云うのではありませんが、どなたかインターネット網の通信費は、誰がどのように負担しているのか教えていただけませんか？

（以下はネット版で……）